

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

2001年の北朝鮮の対外貿易の現状

韓国のKOTRA（大韓貿易投資振興公社）が最近2001年の北朝鮮の対外貿易推計を発表した。しかし、これは韓国と北朝鮮間の貿易を含んでいないため、2001年南北間の貿易統計（統一省資料）を合算した2001年の対外貿易を紹介する。これによると2001年北朝鮮の対外貿易は26億7,346万ドルとなり、前年の23億9,743万ドルに比べ11.5%増加した。北朝鮮の輸出は8億2,638万ドルで前年比15.1%増加、輸入は18億4,708万ドルで前年比10.0%増加を実現しており、貿易収支は10億2,070万ドルの赤字となった。対外貿易の具体的な内容を以下にまとめる。

(1)貿易増加の原因

対外貿易は1999年以降3年連続の増加を見せた。2001年の貿易増加は米朝及び日朝関係の悪化と南北間貿易の減少など対外的に厳しい状況の中で実現された。貿易増加の原因としては、対中国輸出が農水産物、衣類、電子部品などを中心に前年より1.3億ドルも増加したこと、日本のコメ無償支援と中国の各種無償支援、ドイツの牛肉無償支援、韓国の非商業的輸出（支援、軽水炉事業、KEDO重油など）などによる輸入（合計3.3億ドル）が増加したこと¹、ヨーロッパ連合（EU）からの機械類、金属製品などの輸入が増加したことが挙げられる。

(2)北朝鮮の輸出

輸出品目では、水産物（2億368万ドル、全体輸出額の24.6%）が前年比46.0%増加、鉄鋼、亜鉛などの金属類（7,013万ドル、同8.5%）が前年比26.1%増加、無煙炭、マグネシアクリンカーなどの鉱物（5,402万ドル、同6.5%）が前年比23.7%増加するなど一次産品の輸出増加が目立った。反面、委託加工貿易品目である繊維、機械、電気電子製品の輸出は不振であった。繊維製品（1億9,546万ドル、同23.7%）は前年比0.9%増加に留まり、機械・電気電子製品（1億894万ドル、同13.2%）は前年比4%減少した。

(3)北朝鮮の輸入

北朝鮮の主な輸入品は食料品、エネルギー、繊維、機械

類である。2001年には食料品（4億1,687万ドル、全体輸入額の22.6%）が前年比42.4%増加、石油、石炭などのエネルギー（2億4,228万ドル、同13.1%）が前年比26.4%増加、繊維（2億5,624万ドル、同13.9%）が前年比19.0%増加、機械・電気電子製品（2億7,575万ドル、同14.9%）が前年比8.9%増加するなど、ほとんどの品目の輸入が増加した。ここには前述の各国の北朝鮮に対する無償支援が含まれている。

(4)貿易相手国

中国との貿易が急増した。2001年の対中国貿易は7億3,986万ドル（輸出1億6,673万ドル、輸入5億7,313万ドル）で前年比51.6%も増加し、全体貿易の27.7%を占めた。特に中国への輸出が水産物、繊維、鉄鋼、電気部品などを中心に、辺境貿易、加工貿易、保税貿易などの形で前年の3.5倍になった。

日本との貿易は4億7,470万ドル（輸出2億2,562万ドル、輸入2億4,908万ドル）で前年比2.4%増加し、全体貿易の17.8%を占めた。しかし、これには日本のコメ支援50万トン（1億600万ドル）が含まれており、コメ支援を除外した輸入は1億4,308万ドルで前年比30.8%減少した。この主な原因は衣類、電気電子部品など委託加工貿易の減少であり、輸出も前年比12.2%減少した。

韓国との貿易は4億296万ドル（輸出1億7,617万ドル、輸入2億2,679万ドル）で前年比5.2%減少した。しかし、各種支援、軽水炉事業、KEDO重油、経済協力事業などの非商業的貿易を除いた商業貿易は2億3,632万ドル（輸出1億7,348万ドル、輸入6,284万ドル）で北朝鮮の1.1億ドルの黒字となる。

また、外交関係を正常化したヨーロッパ連合（EU）との貿易は3億1,141万ドル（輸出8,030万ドル、輸入2億3,111万ドル）で前年比22.5%増加した。北朝鮮の輸出は前年比10.4%減少したが、機械類の輸入が急増し、ドイツの牛肉支援もあり輸入が前年比40.3%増加した。EUとの経済交流拡大を推進した北朝鮮の政策が反映されたと言える。

ロシアとの貿易は6,834万ドル（輸出454万ドル、輸入6,379万ドル）で前年比47.6%増加し、2001年に緊密化した朝口関係を反映した。

¹ 日本のコメ支援（106,000千ドル）、中国の公的無償支援（27,564千ドル）、ドイツの牛肉支援（29,100千ドル）、韓国の非商業的輸出（163,950千ドル）。日本のコメ支援の場合、日本政府の公式発表では9億2,292万ドルであるが、これは日本国内のコメ価格基準であり国際価格との格差が大きいため、KOTRAは日本が世界食糧機構（WFP）と契約した価格である1億600万ドル（1トン当たり212ドル）をコメ支援価格と推計した。

(5)今後の展望

2001年の貿易は増加したが、国際社会の支援が減少する場合、貿易は再び沈滞する可能性がある。主な貿易相手国である日本や韓国との間に委託加工貿易が減少しているこ

とは、北朝鮮の外貨獲得に悪影響を与える可能性がある。

北朝鮮は委託加工貿易の活性化に努力しなければならない。

(ERINA調査研究部客員研究員 李燦雨)

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の主要経済指標の推移

区分	単位	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001		
1 総人口	千人	20,495	20,798	21,123	21,353	21,543	21,684	21,810	21,942	22,082	22,175	22,253		
2 GDP (名目)	億ドル	229	211	205	212	223	214	177	126	158	168	157		
3 1人当たり国民所得	ドル	1,115	1,013	969	992	1,034	989	811	573	714	757	706		
4 実質GDP成長率	%	5.2	7.6	4.3	1.7	4.5	3.7	6.8	1.1	6.2	1.3	3.7		
5 名目GDPの産業部門別構成	農林水産業	構成比	28.0	28.5	27.9	29.5	27.6	29.0	28.9	29.6	31.4	30.4	30.4	
		成長率	2.8	2.7	7.6	2.7	10.5	1.0	3.9	4.2	9.2	1.9	6.8	
	鉱工業計	構成比	38.0	33.8	32.9	31.4	30.5	28.0	25.5	25.6	25.6	25.4	26.0	
		成長率	7.9	9.2	8.2	7.8	8.0	7.1	6.7	6.6	7.3	7.7	8.0	
	鉱業	構成比	6.8	6.1	7.2	5.5	2.3	11.8	11.8	6.1	14.1	5.8	4.8	
		成長率	30.0	24.6	24.7	23.6	22.5	20.9	18.8	19.0	18.3	17.7	18.1	
	製造業	構成比	13.4	17.8	1.9	3.8	5.3	8.9	16.8	3.1	8.5	0.9	3.5	
		成長率	34.1	37.7	39.2	39.0	41.9	43.0	45.6	44.9	43.0	44.2	43.6	
	SOC及びサービス計	構成比	5.0	5.1	4.8	4.8	4.8	4.3	4.3	4.2	4.5	4.8	4.8	
		成長率	4.5	5.7	8.7	4.2	0.1	7.8	9.6	9.2	6.8	3.0	3.6	
	電気・ガス水道	構成比	8.2	9.1	8.5	6.3	6.7	6.4	6.3	5.1	6.1	6.9	7.0	
		成長率	3.4	2.1	9.7	26.9	3.2	11.8	9.9	11.4	24.3	13.6	7.0	
	建設	構成比	20.9	23.5	25.9	27.9	30.3	32.3	35.0	35.6	32.4	32.5	31.8	
		成長率	2.5	0.8	1.2	2.2	1.5	0.8	1.1	0.5	1.9	1.2	0.3	
	(製造業内訳)	軽工業	構成比	8.0	6.3	6.8	7.0	6.8	6.9	6.5	6.4	6.1	6.5	6.7
			成長率	4.4	7.3	5.0	0.1	4.0	7.1	12.0	0.2	2.4	6.2	2.3
		重工業	構成比	22.0	18.3	17.9	16.6	15.7	14.0	12.3	12.6	12.2	11.2	11.4
成長率			15.8	21.0	4.2	5.2	5.9	9.7	18.7	4.6	11.6	1.5	4.1	
(サービス内訳)	政府	構成比	13.0	15.0	16.8	18.6	20.7	22.5	25.1	25.3	22.8	22.6	22.2	
		成長率	4.4	2.4	2.3	3.3	2.8	1.7	2.2	0.3	4.5	0.5	0.4	
	その他	構成比	7.9	8.6	9.0	9.3	9.6	9.7	9.9	10.3	9.6	9.8	9.7	
		成長率	0.3	1.7	0.5	0.4	0.7	0.7	1.0	1.1	3.9	2.5	0.1	
6 国家予算	歳入	億ドル	173.0	175.0	185.3	192.7	118.5	94.9	91.3	90.0	91.2	95.4	97.9	
	歳出	億ドル	171.7	173.9	183.8	191.9	118.0	96.3	91.3	91.0	92.2	95.7	98.1	
7 石炭生産	千トン	31,100	29,200	27,100	25,400	23,700	21,000	20,600	18,600	21,000	22,500	23,100		
8 石油	原油輸入	万トン	189	152	136	91	110	93.6	50.6	60.9	31.7	38.9	57.9	
	石油製品輸入	千トン	59.6	68.8	71.1	71.1	50.5	84.2	80.4	84.0	82.8	72.8	67.2	
9 電力	発電能力	万kW	714	714	714	724	724	739	739	739	739	755	775	
	発電量	億kWh	263.0	247.0	221.3	231.3	230.0	212.7	192.7	169.5	185.7	193.6	201.5	
10 穀物	生産量	千トン	4,427	4,268	3,884	4,125	3,450	3,690	3,489	3,886	4,222	3,588	3,948	
	輸入量(注4)	千トン	1,290	830	1,093	490	962	1,050	1,630	1,120	1,070	1,225	1,400	
11 対米為替レート	ウォン/ドル	2.15	2.26	2.19	2.16	2.05	2.14	2.16	2.20	2.17	2.19	2.21		
12 貿易(注6)	輸出(A)	億ドル	11.2	11.9	12.0	10.2	9.6	9.1	11.0	6.5	6.4	7.2	8.3	
	輸入(B)	億ドル	17.1	16.4	16.3	12.9	13.8	13.2	13.9	10.1	11.8	16.8	18.5	
	貿易総額(A+B)	億ドル	28.3	28.3	28.3	23.0	23.4	22.3	24.8	16.6	18.1	24.0	26.7	
	貿易収支(A-B)	億ドル	6.0	4.5	4.3	2.7	4.2	4.1	2.9	3.6	5.4	9.6	10.2	
	貿易/GNP	%	12.4	13.4	13.8	10.9	10.5	10.4	14.0	13.2	11.5	14.3	17.0	
(主要国別)	中国	輸出	百万ドル	86	156	297	199	64	69	122	57	42	37	167
		輸入	百万ドル	525	541	602	425	486	497	535	356	329	451	573
		貿易総額	百万ドル	611	697	900	624	550	566	656	413	370	488	740
		貿易収支	百万ドル	439	386	305	225	423	428	413	298	287	414	406
	ロシア	輸出	百万ドル	171	65	40	40	16	29	17	8	2	3	5
		輸入	百万ドル	194	227	188	100	68	36	67	57	49	43	64
		貿易総額	百万ドル	365	292	227	140	83	65	84	65	50	46	68
		貿易収支	百万ドル	23	162	148	60	52	7	50	48	47	39	59
	日本	輸出	百万ドル	284	257	252	323	340	291	310	219	203	257	226
		輸入	百万ドル	224	223	220	171	255	227	179	175	148	207	249
		貿易総額	百万ドル	508	480	472	494	595	518	489	395	350	464	475
		貿易収支	百万ドル	60	34	33	152	85	64	132	44	55	50	23
	韓国	輸出	百万ドル	106	163	178	176	223	182	193	92	122	152	176
		輸入	百万ドル	6	11	8	18	64	70	115	130	212	273	227
		貿易総額	百万ドル	111	174	187	195	287	252	308	222	333	425	403
		貿易収支	百万ドル	100	152	170	158	159	113	78	37	90	120	51
13 累積対外債務	金額	億ドル	93	97	103	107	118	120	119	121	123	125		

出所

1. 韓国銀行、「北朝鮮のGDP推定結果」各年度
2. 朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議、「予算報告書」、各年度
3. 大韓貿易投資振興公社(KOTRA)「北朝鮮の対外貿易動向」
4. 韓国統一省、「南北交流協力動向」
5. IEA、「Energy Statistics and Balances of Non-OECD Countries 1994-1995」

注

1. 1994年の部門別歳出は予算ベース(構成比も同様)。
2. 1995-96年の国家予算額は北朝鮮政府がIMFに提出したものである。
3. 石油製品輸入のうち1995年まではIEA統計であり、1996年以降は韓国統一省の統計である。
4. 各国および国際機関からの穀物支援を含んだ量である。
5. KOTRA推計による北朝鮮の対世界貿易額は韓国向けが含まれていないため、北朝鮮・韓国間の交易金額をERINAにて加算